

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成23年9月22日(2011.9.22)

【公開番号】特開2009-96180(P2009-96180A)

【公開日】平成21年5月7日(2009.5.7)

【年通号数】公開・登録公報2009-018

【出願番号】特願2008-239017(P2008-239017)

【国際特許分類】

B 2 9 B 13/10 (2006.01)

B 0 7 B 1/28 (2006.01)

B 0 7 B 1/46 (2006.01)

【F I】

B 2 9 B	13/10	
B 0 7 B	1/28	Z
B 0 7 B	1/46	B

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月4日(2011.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

円柱状の樹脂ペレットを振動する篩機上の篩面で選別する方法において、円柱状の樹脂ペレットの直径がD、長さがHとしたとき、DとHがなす対角長の長さをLとし、Lに対して1.05~1.15倍の孔径dの孔を複数個有する篩面で選別することを特徴とする樹脂ペレットの選別方法。

【請求項2】

篩面での幅方向の孔空けのピッチPが、1.8~2.0dであることを特徴とする請求項1記載の樹脂ペレットの選別方法。

【請求項3】

円柱状の樹脂ペレットの対角長の長さLが4mm以上5mm未満であることを特徴とする請求項1または2記載の樹脂ペレットの選別方法。

【請求項4】

篩機の振動数が2000~4000vpmであることを特徴とする請求項1~3のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。

【請求項5】

篩機の振幅が0.3~0.75mmであることを特徴とする請求項1~4のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明者らは、これらの課題を解決すべく鋭意検討し、異常形状ペレットの除去率を向上させることのできる方法を見出し、本発明に至った。すなわち、本発明の樹脂ペレット

の選別方法は、以下のとおりである。

1. 円柱状の樹脂ペレットを振動する篩機上の篩面で選別する方法において、円柱状の樹脂ペレットの直径がD、長さがHとしたとき、DとHがなす対角長の長さをLとし、Lに對して1.05~1.15倍の孔径dの孔を複数個有する篩面で選別することを特徴とする樹脂ペレットの選別方法。
2. 篩面での幅方向の孔空けのピッチPが、1.8~2.0dであることを特徴とする1記載の樹脂ペレットの選別方法。
3. 円柱状の樹脂ペレットの対角長の長さLが4mm以上5mm未満であることを特徴とする1または2記載の樹脂ペレットの選別方法。
4. 篩機の振動数が2000~4000vpmであることを特徴とする1~3のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。
5. 篩機の振幅が0.3~0.75mmであることを特徴とする1~4のいずれか記載の樹脂ペレットの選別方法。